



高齢化社会の到来に向けて

横芝町老人保健福祉計画

保健・医療・福祉サービス

提供体制を確立

今後、高齢化社会が急速に進むなかで町民一人ひとりが生きがいを持ち、真に長寿を喜び安心して健康に暮らせる社会づくりが必要となってきます。このため、町では高齢者や家族がいつでも必要なサービスを適切に受けられることができるよう、保健・福祉サービスを総合的かつ一体的にした「横芝町老人保健福祉計画」を策定しました。

この計画は、高齢者がねたきりになった場合でも、できるだけ自宅で生活できるように在宅支援に重点を置いた計画で、本年度からスタートし、平成11年度までの6年間に実施すべきサービスの内容とその目標量を定めています。

町民の4・7人に1人が高齢者

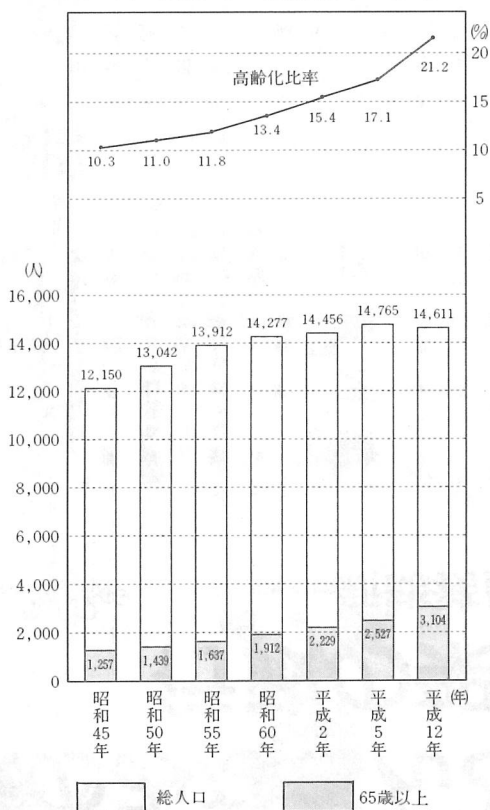
平成5年4月1日現在、本町の65歳以上の高齢者は2,527人で、高齢化率は17・1%と全国平均13・4%を大幅に上回っています。

年度末では14,611人、65歳以上の高齢者は3,104人、高齢化率は21・2%にまで高くなり、町民の4・7人に1人が高齢者になると予測されます。

国勢調査結果をもとに本町の将来人口を予測すると、平成11

(表1参照)

(表1) 横芝町の高齢化率の推移



(資料) 平成2年まで「国勢調査」
平成5年「住民基本台帳」
平成12年「横芝町人口推計」

保健・福祉サービスの目標量

この計画は、平成4年2月に町が実施した高齢者福祉に関する実態と需要調査による出現率

を用いて、将来、援護が必要な高齢者の人数を推計しました。

これらの人々に必要なサービスを提供するため、国で示された標準値及び調査結果を考慮し、サービスの目標量を定めました。

(表2参照)

(表3参照)